

地域経済活性化特別枠

草の根技術協力（地域経済活性化特別枠）事業概要

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ベトナム
2. 事業名	横浜の民間技術によるベトナム国「安全な水」供給プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ベトナムでは急速な経済成長と都市化により水需要は急激に高まっている。ベトナム中南部では、横浜市が2000年以来、主としてフエ省水道公社（以下、HueWACO）を対象に草の根技術協力や技術協力プロジェクトを通じて人材育成を図ってきた。2009年にはフエ省の「安全な水宣言」に結実し、中南部地域の水道事業体ネットワークも強化された。他方、中南部の水道事業体は予算、人、権限に限りがあり、適正な運転維持管理と設備更新も十分でなく、健全な水道事業運営には道合半ばとなっていることから、支援が必要な状況にある。
4. プロジェクト目標	横浜水ビジネス協議会会員企業が有する民間技術の有効性がベトナム中・南部地域の水道事業体に実証され、適正なレベルの技術の導入検討と導入計画立案が進展し、日越官民の水ビジネスネットワークが構築される。
5. 対象地域	ベトナム中・南部地域（フエ省、ホーチミン市等）
6. 受益者層 （人数規模）	直接的な受益者層：HueWACO職員 間接的な受益者層：フエ省の住民（約117万人）、その他中・南部地域の水道公社（ホーチミン水道公社（SAWACO）等）の職員及び域内の住民、その他関係機関
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> ベトナムパイロット給水区域で、横浜水ビジネス協議会会員企業の技術が実演され、水道事業体等にその有効性が認識される。 ベトナムや日本での研修を通じ、横浜水ビジネス協議会会員企業の当該分野における技術の有効性が検証・共有される。 ベトナム中・南部地域の水道事業体で、日本の民間技術導入が検討される。 ベトナム中・南部地域の水道事業体等と横浜水ビジネス協議会会員企業のネットワークが構築される。 <p><主な活動></p> <p>アウトプット1関連：活動計画の策定。実演サイトの決定。協力企業の技術紹介。実演に必要な資機材等の調達。協力企業による技術実演。協力企業による実演実施報告書作成。ベトナムでの最終ワークショップ実施。横浜市水道局によるベトナム中・南部水道事業体との相談。横浜市水道局と協力企業によるベトナム中・南部地域水道事業体等の問題解決の可能性提示。協力企業によるベトナム中・南部のニーズ把握。</p> <p>アウトプット2関連：研修科目、教材、問題点の情報収集。研修プログラムの作成。ベトナム及び日本での研修実施。研修時における協力企業の技術紹介。技術効果の検証。研修報告の作成とベトナム建設省及び関連機関への提出。</p> <p>アウトプット3関連：技術紹介会合への参加。協力企業の技術導入計画について検討。</p> <p>アウトプット4関連：ネットワークの形態・体制の検討。事務局体制等の設立要綱案策定。</p> <p>「連絡会」の会を開催とネットワーク構築。会合で日越共同による技術開発の可能性検討。官民連携によるビジネス機会の拡大検討。</p>
8. 実施期間	2014年2月～2016年11月
9. 事業費概算額	59,552千円
10. 事業の実施体制	本プロジェクトは、フエ省人民委員会とJICA横浜の監督のもと、横浜市がフエ省水道公社及び関係機関との協働により、横浜水ビジネス協議会会員企業の参画を得て実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名 （提案自治体）	横浜市水道局
2. 対象国との関係、協力実績	<ul style="list-style-type: none"> 2000年1月～2003年1月実施のJICA「ベトナム上水道技術訓練プログラム」に参画、ホーチミン市に職員派遣。 2002年、シティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）連携海外研修員受入プログラムでフエ省水道公社からの研修員を受入。 2003年9月～2006年3月、フエ省水道公社とホーチミン水道公社を対象としたJICA草の根技術協力（地域提案型）「水道事業経営改善計画」を実施。 2007年3月～2009年2月、JICA「ベトナム国中部地区水道事業人材育成プロジェクト」に参画。2009年、フエ省水道公社「安全な水宣言」の結実。同年、ベトナム国中・南部地域の三機関（HueWACO、SAWACO、WSTC）と横浜市水道局と間で覚書を締結。 2010年6月から2013年6月までJICA「ベトナム国中部地域都市上水道事業体能力開発プロジェクト」に参画、ベトナム国中部地域への成果波及と人材育成に協力。 2012年にベトナム三機関と横浜市水道局の間における覚書を更新。